



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1

www.aioinissaydowa.co.jp

海洋プラスチックごみ再生樹脂を使用したオフィスチェアを導入 ～所沢ビルに導入することで、海洋プラスチックごみ約 640 キロの削減に貢献～

2022年12月21日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、2022年12月に実施した、当社あんしん24損害サービス部の拠点である所沢ビル（埼玉県所沢市）のオフィスリニューアルにとともに、所沢ビルで使用する椅子（272脚分）をアイリスチトセ株式会社（代表取締役社長：大山 紘平 以下、アイリスチトセ）の海洋プラスチックごみ再生樹脂を使用したオフィスチェアとしました。

これにより、海洋プラスチックごみ^{*1}（以下、海洋プラ）約640キロが削減されるとともに、環境保全への具体的な貢献度が可視化され、社員への環境保全に関する啓発にも寄与します。

※1 沿岸50キロメートル以内の海洋で適正に廃棄処理・管理されていないプラスチック

1. 背景

近年、海洋に放出されたプラスチックごみを海洋生物が誤食し、死亡してしまう事例が多数報告されるなど、海洋プラによる海洋汚染や海洋生物多様性の損失が深刻化しています。また、2016年に開催された世界経済フォーラムでは、毎年全世界で少なくとも約800万トンのプラスチックが海に流出しており、このまま対策を取らなければ、2050年までには海のプラスチックの量が魚の量を上回る危機的な状況であることが示されました。

こうした流れを受け、国内では2022年4月1日に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行されるなど、プラスチックを資源循環させる取り組みが進展してきています。

当社としても、サステナビリティ重点取組項目の一つとして「健やかな地球環境を未来につなぐ～Planetary Health～」を掲げ、自然資本・生物多様性の保全・回復に取り組んでおり、プラスチックの資源循環に取り組む企業を対象に保険料の割引などを行ってきました。

今般、当社は自然資本・生物多様性の保全・回復に向け、海洋プラの回収・再資源化に寄与するため、アイリスチトセの海洋プラを使用したオフィスチェアを導入することとしました。

2. 概要

(1) 導入したオフィスチェア

メーカー・品名	・アイリスチトセ・VIGOR-OBP	
製品の特長	<ul style="list-style-type: none"> ・アイリスチトセの協業パートナーであるプラスチック再生業者が海洋プラを回収し、TUV（テュフ）認証^{※2}を取得した工場で再生樹脂にリサイクルすることで、原料から製品化までのトレーサビリティと安全性を確保 ・使用済みの製品を分別しリサイクルする仕組みではなく、「ごみの回収」「資源の有効活用」という環境保全に貢献する二つの取り組みを同時に実現 	
海洋プラの使用量	・1脚あたり約2.35キロ	

※2 国際的な第三者認証機関である「TUV Rheinland（テュフ ラインランド、本社：ドイツ）」が、技術力や安全等を中立的に認証する制度

(2) 導入内容

日付	・2022年12月15日
場所	・あいおいニッセイ同和損保あんしん24所沢ビル (埼玉県所沢市中新井1-43-1)
設置数	・272脚
海洋プラ削減効果	・約640キロ



3. 今後の展開

当社は海洋プラを使用したオフィスチェアの導入に留まらず、世界規模で課題となっている気候変動問題等の解決に資するオフィス環境構築を今後も進めていきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組めます。

